

(別紙4(2))

事業所名: 高齢者グループホーム介の羽

2 目標達成計画

作成日: 平成 27年 10月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 6 7 8	コンプライアンス／法令遵守 入居者様の権利擁護のため、また、事業を継続するため、グループホームとして、あるいはそのスタッフとして求められている倫理の向上、法令遵守力の定着など、総合的にレベルを向上させる方策に取り組む	法令遵守規程(案)の試行及び年間教育計画に基づく教育と実践により、コンプライアンスを基本とした業務ができる。	法令遵守規程(案)及び教育計画に基づき定例の勉強会を開催する。	12ヶ月
2	11 12 13 14 15 16	職員が定着しない。長期間勤務を継続している職員がいない。このため、職員と入居者様の間の信頼関係がなかなか構築できない。 職員の経歴管理ができていない。職員が定着しないことと、適切な経歴管理ができていないことから職員一人一人のキャリアアップが図れていない。いずれも、この一年改善できていない。	労使間の意思の疎通を図る。 適切な経歴管理により人材(財)を育成する。 職員が自発的に能力修得を目指せる雰囲気醸成する。	スタッフ間のおしゃべりや仕事上の会話の中で、コミュニケーション技術、介護技術などの情報を積極的に流して、上昇志向のチームづくりを目指している。	12ヶ月
			以下余白		

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。